

## 施策評価調書〔途中評価(平成30年度実施)〕

### 地域別計画

		作成年月日	平成30年10月26日	長崎県総合計画記載ページ	192	P
地域名	杵岐地域(杵岐市)	施策主管所属	杵岐振興局			
		課(室)長名	局長 大崎 義郎			

### 1 地域別計画の内容

<p>【取組の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域資源をゴットリ活かした産業振興で活力あふれるしまづくり</li> <li>2 杵岐の文化や豊かな自然等、島人の誇りを守り伝えるしまづくり</li> <li>3 豊かな地域資源や自然を活かした環境にやさしい低炭素のしまづくり</li> <li>4 住む人がいきいきと安心して暮らせるしまづくり</li> </ol>	<p>【地域をめざす姿】</p> <p>古代ロマンを今に伝える歴史遺産、焼酎や豊かな農畜水産物の魅力にあふれ、福岡に近接する優位性を活かして人と人が活発に交流するとともに、安心して住み続けられるしま</p>
--	---

### 2 地域別計画の進捗状況と評価

施策の進捗状況の評価
<input type="checkbox"/> A : 順調 <input checked="" type="checkbox"/> B : やや遅れている <input type="checkbox"/> C : 遅れている
<p>&lt;&lt;これまでの成果&gt;&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成29年4月に施行された有人国境離島法に基づく交付金等を活用した、航路・航空路運賃のJR並みの低廉化や、滞在型観光の促進により、延べ宿泊者数が平成28年の311,259人から平成29年335,425人となり、交流人口の拡大が図られた。また、創業や事業拡大への支援による雇用の拡充等により、92人の新たな雇用が生まれるなどにより、人口の社会減が平成28年の▲233人から平成29年は▲111人と大きく改善した。</li> <li>●集落営農組織の法人化や経営支援等を実施する「杵岐市担い手サポートセンター」を県、市、JAが協働で平成29年4月に開設し、積極的に集落営農組織の法人化に取組んだ結果、法人化した集落営農組織数が平成26年度の2組織から、平成29年度末時点で28組織と大幅に増加し、農業の担い手確保や経営基盤の強化が図られた。</li> <li>●地域包括ケアシステムの構築等を進めるために、県、市、医師会、医療介護施設、社協等の関係機関の連携体制整備を進めたことにより、あじさいネット(※)の閲覧施設が増え、安心して暮らせるしまづくりが進展した。</li> </ul> <p style="font-size: small;">※あじさいネット：患者の同意のもとインターネット経由で中核病院の診療情報等を共有し、かかりつけ医等での診療に活用するネットワークシステム</p> <p>&lt;&lt;進捗状況に課題がみられる分野&gt;&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●杵岐市、商工会、公共職業安定所、高校等との連携により、高校生への島内企業説明会を実施するなど、若者の島内定着の取組みを実施しているが、高校卒業生の大部分が島外へ転出していることから、若者の定着を促進するとともにUIターン者の増加を図り、社会減を一層抑制することが重要である。</li> <li>●杵岐病院の宿泊研修センターを活用した研修医等の受入や医療技術者の研修を実施しているものの、医師、看護師、介護関係者の確保は十分ではないことから、住環境施設や就労環境施設の整備を行うとともに、誘致した介護福祉専門学校の学生の卒業後の島内定着により、一層の確保を図ることが重要である。</li> </ul>

### 3 地域別計画の数値目標の進捗状況

指標	基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	進捗状況の分析
延べ宿泊者数	目標値①	/	32.1万人	32.8万人	33.5万人	34.2万人	34.9万人 (H32)	平成28年は、熊本地震の影響等により目標値を下回ったが、震災による観光への影響を軽減するために旅行者の宿泊費を助成する「九州ふっこう割」等の効果もあり、その減少幅は一定抑えられた。 平成29年は、「九州ふっこう割」が終了したことにより反動減は見受けられたものの、有人国境離島法を活用した滞在型旅行商品の造成・販売等により交流人口の拡大が図られ(前年比7.7%増)、目標値を達成した。
	実績値②	29.8万人 (H26)	31.1万人	33.5万人			進捗状況	
	②/①	/	96%	102%			順調	
集落営農組織の法人化数	目標値①	/	18組織	19組織	20組織	21組織	21組織 (H32)	集落営農組織の法人化や法人化後の経営支援等をワンストップで支援するため、県、市、JAが協働して「杵岐市担い手サポートセンター」を平成29年4月に開所した。同センターにおいて集落営農組織連絡協議会に対して法人化の必要性や有用性についての説明会を実施するとともに、集落内の合意形成に積極的に関わったことから計画以上の法人化が進んだ。
	実績値②	2組織 (H26)	21組織	28組織			進捗状況	
	②/①	/	116%	147%			順調	

指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	進捗状況の分析
第1次産業新規就業者数	目標値①		23人/年 23人 (H28)	23人/年 46人 (H28-H29)	23人/年 69人 (H28-H30)	23人/年 92人 (H28-H31)	23人/年 115人 (H28-H32)	23人/年 115人 (H28-H32累計)	有人国境離島法に基づく地域社会維持推進交付金などを活用した創業や事業拡大などの掘り起こしや支援のほか、県、市、JA、漁協が協力した就業相談、情報発信等により、農林業関係、水産業関係ともに、平成29年度の目標値は達成した。
	実績値②	20人 (農林業：H22-28平均) (水産業：H26)	21人	24人/年 45人				進捗状況	
	②/①		91%	98% (累計)				やや遅れ	

指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	進捗状況の分析
あじさいネット閲覧施設数	目標値①		2施設	3施設	4施設	5施設	6施設	6施設 (H32)	平成30年5月23日現在のあじさいネット閲覧施設数は19施設(情報閲覧施設数17施設、情報提供施設2施設)と目標値の3施設を大きく上回り、達成率は633%となっている。当初は苓岐市内の病院のみを対象と考えており、全6施設の加入を目標値としていたが、苓岐市、苓岐市医師会及び苓岐振興局保健部の地域包括ケアシステム構築推進の取組により、病院のほか、診療所、調剤薬局、訪問看護事業所及び福祉施設でも加入が進み、目標を達成した。 (途中評価に伴い目標値を修正予定)
	実績値②	0施設 (H26)	9施設	19施設				進捗状況	
	②/①		450%	633%				達成	

#### 4 新たな課題や社会情勢の変化等

- 有人国境離島法の施行と、同法に基づく地域社会維持推進交付金等の創設（平成29年4月）。
- 地域社会維持推進交付金等を活用した創業や事業拡大に伴い雇用機会が増加しているものの、若者の島外流出等により人手が不足。また、島外からの雇用を促進する際の移住者向けのアパート等が十分ではない。
- クロマグロの資源回復のための都道府県ごとの漁獲枠設定による漁家経営環境の悪化。



#### 5 課題を踏まえた今後の対応方針

- 地域社会維持推進交付金等を活用した雇用機会の拡充、島民の航路・航空路運賃の低廉化、農水産物の輸送コストの低減、滞在型観光の促進に取組み、活力があり地域の人々が住み続けたいと感じられる環境の整備を図る。
- 市と協力し、住居対策を含めた移住施策を推進する。また、介護職の人材確保及び若者の島内定着のために、介護専門学校の入学生の増加を推進するとともに、卒業生の島内定着を図る。
- クロマグロ以外の漁種や漁法への転換など、漁家の経営支援を行う。

#### 6 地域づくりの方向性を推進する主な取組の状況

番号	地域づくりの方向性	主な取組の状況	主な取組事業等（本庁所管課）
1	地域資源をこつとり活かした産業振興で活力あふれるしまづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●規模拡大推進による肉用牛の増頭とキャトルステーション等の利用促進による労力支援体制の強化</li> <li>・畜産クラスター協議会に位置づけられた中心的新規参入農家、規模拡大農家に対し、飼養管理・経営指導、施策の活用支援を実施し、新規就農2法人や規模拡大農家2戸が新たに牛舎建設を行い、173頭の飼養規模を拡大</li> <li>●イカ釣りや一本釣り漁業など沿岸漁業の経営強化の推進</li> <li>・これまでマグロ等を対象とした一本釣り漁業を主体として操業していた漁業者への経営多角化を支援し、漁業者1名と漁業者グループ2件、4人が新たにイカ釣り操業へ転換</li> <li>●雇用創出や後継者の確保、企業・創業の支援</li> <li>・有人国境離島法に基づく交付金を活用した苓岐市雇用拡充事業により、新規雇用を伴う苓岐島内での民間企業の創業や事業拡大を支援し、平成29年度及び平成30年度の2年間で55事業者を採択、139名の新規雇用に創出見込み</li> <li>・若年層の島内定着の推進のため、振興局、苓岐市、公共職業安定所、商工会、高校等が連携し、島内企業説明会や島内企業訪問等を実施し、島内専門学校への進学を含めた島内定着率が平成28年度11.1%から平成29年度13.6%と2.5ポイント改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産クラスター構築事業、肉用牛パワーアップ事業、家畜導入事業、ながさき肉用牛振興計画（畜産課）</li> <li>・水産経営支援事業、新水産業収益性向上・活性化支援事業（水産経営課）</li> <li>・国境離島創業・事業拡大等支援事業費、国境離島輸送コスト支援事業費（地域づくり推進課）、しま旅滞在促進事業費、しま旅グレードアップ事業費（観光振興課）</li> <li>・若者県内就職対策事業費（若者定着課）</li> </ul>

2	<p>香岐の文化や豊かな自然等、島人の誇りを守り伝えるしまづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史的文化遺産の保存・公開による次世代への継承 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 支国博物館の裏側を紹介する「バックヤードツアー」の実施(毎月第3土曜日)や、韓国釜山博物館との職員相互派遣による共同研究の実施(研究内容は毎年長崎市及び香岐市で開催している国際シンポジウム等で発表)</li> </ul> </li> <li>● しまの教育資源を活用し、地域と協働した学校の魅力化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の高校生の離島留学生数:香岐高校東アジア歴史・中国語コース 1年生26人、2年生12人、3年生12人</li> </ul> </li> <li>● 環境保全活動及び環境教育の推進、自然とのふれあいの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に自然とのふれあいを通じて、香岐の魅力を発見するツアーを実施し32名が参加</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財センター管理運営費・普及啓発(学芸文化課)</li> <li>・埋蔵文化財センター管理運営費・東アジア考古学(学芸文化課)</li> <li>・高校生の離島留学推進事業(高校教育課)</li> <li>・自然に親しむ運動(自然環境課)</li> </ul>
3	<p>豊かな地域資源や自然を活かした環境にやさしい低炭素のしまづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 米麦、香岐焼酎、肉用牛などが結びついた循環型農業の展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・香岐焼酎の生産過程で発生する焼酎粕の繁殖肉用牛へのエコフィード利用を推進し、23戸の繁殖農家で1,086トン利用</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源循環型畜産確立推進事業(畜産課)</li> </ul>
4	<p>住む人がいきいきと安心して暮らせるしまづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有人国境離島法に基づく交付金を活用した航路・航空路運賃の低廉化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度から住民の航路・航空路運賃のJR並みの運賃への低廉化を実施し、航路・航空路の乗降客数が、平成28年度比4.3%(30,578人)増加</li> </ul> </li> <li>● 利便性・快適性・機能性を高める道路の整備、交流機能として港湾・漁港の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 一般県道湯ノ本芦辺線の道路改良工事の実施や、芦辺漁港のジェットフォイル浮桟橋の改善に向けた調査設計を実施</li> </ul> </li> <li>● 地域包括ケアシステムの構築、診療情報の共有化による医療と介護の連携促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議の開催や、医師会における在宅医療推進部会の設置及び事業検証、あじさいネットの連携強化等の取組みにより、医師会、医療介護施設、社協等がお互いに連携した体制整備が進み、地域包括ケアシステムの構築が進展した。</li> <li>あじさいネット閲覧施設数:22施設</li> </ul> </li> <li>● 各種研修制度を活用した新規就漁者の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜の魅力発信・漁業就業促進総合支援事業により、新規就業者にむけた3人の技術取得期間の生活費を支援</li> <li>・将来の担い手となる小中高生を対象とした水産教室を香岐市や漁業士会と連携して25回開催</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国境離島航路運賃軽減事業費、国境離島航空路運賃軽減事業費(新幹線・総合交通対策課)</li> <li>・社会資本整備総合交付金事業(道路建設課)</li> <li>・特定漁港漁場整備事業(漁港漁場課)</li> <li>・社会資本整備総合交付金(港湾課)</li> <li>・地域医療介護総合確保基金事業(長寿社会課)</li> <li>・長崎県医療計画(医療政策課)</li> <li>・浜の魅力発信・漁業就業促進総合支援事業、長崎県担い手基金(水産経営課)</li> </ul>

